

# いきいき弥小っ子

## 将来を考える

校長 黒部道雄

まだまだ寒い日が続きますが、雪の下ではふきのとうが小さなつぼみを見せており、梅の開花たよりも聞こえてくる頃になりました。卒業を間近にひかえている6年生は、カレンダーを見ながら、残り少ない小学校生活を仲間と楽しそうに過ごしています。中学校に行ったら、どの部活に入ろうかなと考えている様子も伺えます。

この時期になると小学校だけに限らず社会全体が、就職や新しい学校への入学など、スタートの4月を見据えたいろいろな準備を始めています。

以前、欧州への海外短期視察研修に出ささせていただいたことがありました。その時、いくつかの学校を視察した中で、スペインの工業高校を視察した時のことを印象深く覚えています。

その学校での学習参観のあとで、生徒に通訳を介して質問をしてみました。「君は、どうしてこの高校を選んだの？」すると、即座に「ぼくは、将来、時計などの精密機械をつくる仕事につきたいと思ったから」とか「車などを修理するエンジニアになりたいから」という返事が返ってきました。

質問に対して即座に答えたこの学校の生徒に大変感心し驚いたことを覚えています。この頃の私を振り返ってみると、高校を選んだ理由が「友だちか行くから」とか、「みんなが行くから」というようなことであつたからです。

今、小学校でもキャリア教育が重視されてきました。当校でも、6年生の子どもたちが、総合的な学習の時間で、地域の先輩から講師としておいでいただき、生き方を学んでいます。

その中で、子どもたちが、社会での「本物」や「働くことの喜び」、「世の中の実態や厳しさ」などを学び、自分の将来を考える気づきやきっかけになればと思っています。

小学校の段階では先のことについて考えるのは、それほど急がなくてもよいようにも思いますが、これから自分は何をしたいのか？ どのような仕事につきたいのか？ を考えておくことが必要な時代になってきているように思います。

## インフルエンザにご注意を

インフルエンザの流行が広がらないように努めています。インフルエンザり患状況は減少の傾向を見せていますが、油断できません。

これまでも、ご家庭で予防措置についてご留意をいただきましたが、さらに、継続的な注意が必要です。学校でも、子どもたちに手洗いやうがい、咳エチケット、教室の換気の励行について指導を続けております。人混みを避ける、マスクの着用などに努めるなど、引き続きお子さんへの注意喚起をいただければ幸いです。

## みんなで気持ちをそろえて・・・わかばフレンズ大なわ大会

2月7日（火）～9日（木）の昼休みに体育委員会主催の「わかばフレンズ大なわ大会」が開催されました。これは、「異学年での交流を通して、互いに認め合い、称え合う態度を養うこと」「楽しみながら縄跳び運動に取り組み、体力の向上を図ること」を目的とした大会でした。わかばフレンズごとになわを回す人を決め、「なわの中に入っている人数×跳んだ回数(最高記録)」の記録をとりました。上位記録は次のとおりです。

1位	2位	3位
さくら8班	もみじ10班	きく12班
231ポイント	220ポイント	216ポイント
11人で21回	10人で22回	12人で18回



## 各プロジェクトの取組⑨(思いやりプロジェクト)



来週（2月27日～）は「6年生を送る週間」です。お世話になった6年生に、全校で様々な形で感謝を伝える週間となります。その中で、わかばフレンズの「さくら」「もみじ」「きく」の各班ごとに「6年生と遊ぼう」という交流があり、5年生が中心になって計画を練っています。もうすぐ最高学年のバトンを引き継ぐ5年生。はりきって計画をたてているところですが、自信をもって全校をリードしていけるよう、職員もサポートしていきます。

なお、「6年生を送る会」は3月2日（金）10:05～11:25に行います。どうぞ、学校にお越しください。

## 各プロジェクトの取組⑩(根っこプロジェクト)

2月2日（木）朝、あいさつ集会を行いました。「あいさつはなぜするのか？ 気持ちの面で考えてみよう」というテーマで行いました。「あいさつをして、あいさつが返ってくるとどんな気持ちになるのか・・・」「家の人や地域の人、弥彦村に来ている人にあいさつを交わすと相手はどんな気持ちになるのか」を職員の劇を通して考えました。そして、あいさつのコツ、「あかるく」「いつも」「さきに」「つなぐ」も子どもたちに伝えました。明るいあいさつをいつも心掛け、相手より先にあいさつをし、あいさつをどンドンつないで広げていくという意味です。ぜひ、ご家庭や地域でのご協力をお願いします。

